

WEB 関連項目 | 「エコ・ファーストの約束」と進捗

「エコ・ファースト」の取り組み



「エコ・ファースト」とは、企業が環境大臣に対し、地球温暖化対策、廃棄物・リサイクル対策など、自らの環境保全に関する取り組みを約束する制度です。

積水ハウスは、2008年に「エコ・ファーストの約束」を宣言し、業界における環境先進企業であることを、環境大臣に認定されています。

「エコ・ファーストの約束」を更新し、取り組みを深化

当社は2008年6月に「エコ・ファースト企業」として認定を受け、着実に取り組みを進めてきました。2012年3月および2016年12月には、社会情勢の変化や取り

組みの進捗を反映し、「温暖化防止」「生態系保全」「資源循環」という大きな枠組みはそのままに「エコ・ファーストの約束」を更新し、取り組みを深化させています。

深化させた取り組み例

① ネット・ゼロ・エネルギーハウス
比率を2020年までに80%以上に



「グリーンファーストゼロ」の拡販

② 「5本の樹」計画で、2020年に
累積植栽本数1500万本達成



「5本の樹」計画の推進

③ 生産工場におけるマテリアル
リサイクル率を90%以上に



資源循環センターでのプラスチック類の分別

「エコ・ファースト推進協議会」での取り組み

「エコ・ファースト推進協議会」は、環境大臣に個別に宣言している「エコ・ファーストの約束」の確実な実践と、先進性・独自性に富む環境保全活動のさらなる充実・強化等を「エコ・ファースト企業」が連携して強力に推進していくことを主目的に設立されました。2017年2月1日時点で39社が加盟しています。

2014年4月からは第3代議長会社（議長：当社会長 和田 勇）として、環境先進企業をリードしています。



丸川環境大臣(当時)も出席しての2016年度通常総会

2016年度の主な活動

「エコとわざ」コンクールを開催

全国の小中学生に「美しい地球を未来につなぐために、私たちは何をしたらよいのか」を考える機会を提供することで、国民の環境意識の啓発に寄与したいと考え、環境省の後援を得て、本コンクールを開催しています(2016年で7回目)。

応募作品953点を審査委員会で厳正に審査した結果、最優秀賞の「環境大臣賞」をはじめ、加盟企業賞の一つとして「積水ハウス賞」を表彰しました。



「エコとわざ」積水ハウス賞作品
「あおいほしくろやはいろいろまぜちゃだめ」
(静岡県 三善 優花さん)

「エコ・ファーストパーク」で情報交換会を開催

当社の環境活動における象徴的な実証実験住宅を関東工場(茨城県古河市)に集め、「エコ・ファーストの約束」で示した三つの環境取り組みが体験できる一般公開施設「積水ハウスエコ・ファーストパーク」。

2016年3月には、当地にて情報交換会を開催。「エコ・ファースト企業」各社の担当者に見学いただきました。また、7月には施設内に「エコ・ファースト企業」コーナーを設置しました。

